



ADRC Highlights

Vol.78

Asian Disaster Reduction Center Biweekly News

September 16, 2003

➤ ADRCがフィリピンでの防災展示会・ワークショップに参加

2003年7月28日から29日にかけて、ADRCは防災科学技術研究所地震防災フロンティア研究センター（EDM）からの依頼を受けて、フィリピンのマリキナ市で開催された防災展示会とワークショップに参加しました。展示会では、ADRCがこれまでに実施してきた「タウン・ウォッチング」や「地域ごとの津波避難計画」を防災対策の一例としてポスター展示を行い、住民自ら地域のリスクを認識し、コミュニティの防災力を向上させていくことの重要性を説明しました。当日は近隣の高校生を含む多くの一般市民が訪れ、居住する街の地震に対する脆弱性や日本の防災対策の事例に熱心に耳を傾けていました。特に、「タウン・ウォッチング」は実施経費も少なく、住民が参加しやすい効果的な方法であるとして多くの関心を集めました。



引き続き実施されたマリキナ市職員を対象としたワークショップでは住民への教育・啓発を今後どのように実施すべきかについて具体的な目標設定に関する助言を行いました。この件についての問合せは、中村研究員 (nakamura@adrc.or.jp)までお願いします。

➤ ADRC への来訪者: アジア太平洋地域 13 カ国から防衛関係者が来訪

2003年8月30日、防衛庁が実施するアジア太平洋地域多国間協力プログラムの一環として、アジア太平洋地域から13カ国・17名の防衛関係者が、アジア防災センターを訪問しました。



防衛庁陸上幕僚監部の岡崎勝司一等陸佐引率のもと一行は、国際防災協力活動や災害への対応事例を視察するため、兵庫県を視察しました。

まず、アジア防災センターの西川所長が、同センターの活動について説明を行った後、スリランカ出身のサンカル研究員より2003年5月にスリランカで発生した大洪水後の同国政府への助言についての説明が行われました。ハワイ米軍のパーズ中佐をはじめ参加者たちは、ADRCの災害救援活動に大きな興味を示し、今後一層、ADRCとの意見交換を行っていくこととなりました。

➤ ADRC が調査チームをスリランカへ派遣

スリランカ国立防災センターの依頼を受けて、2003年8月4日から11日の間、ADRCは調査チームをスリランカへ派遣しました。同チームは、現地調査を実施するとともに、社会福祉省のラヴィンダラ・サマラヴィーラ大臣とV・ジャ



ガラサシガム書記官らと面会し、スリランカでの防災システムの構築方法について協議しました。なお、スリランカでは2003年5月、大洪水に見舞われ、200名以上の死者を出しました。この件についてお問合せは、吉村主任研究員 (yoshimura@adrc.or.jp) またはサンカル研究員 (sanker@adrc.or.jp)までお願いします。

➤ アジア最新災害情報: □ 台風14号による韓国南部の被害

2003年9月13日、最大瞬間風速60メートルと同国観測史上、大規模となった台風14号（アジア統一名: Maemi）が韓国南部を襲い、少なくとも121名が死亡・行方不明、8,938名が家屋喪失しました。この台風による同国での被害総額は13億ドル（約1,526億円）を上回ることも分かりました。物的被害のうち、とりわけ道路が774本、橋梁が27本も損害を受け、農地も約1万7,600ヘクタールが浸水しました。また船舶も計465隻が損害を受けました。

また、2日前の9月11日には沖縄・八重山諸島を直撃、宮古市地方のほぼ全世帯に当たる2万2000世帯で停電しました。詳細は、ADRC 最新災害情報をご覧ください。
http://www.adrc.or.jp/nationframe.asp?URL=/view_disaster_jp.asp&NationCode=410&lang=jp&KEY=646

ご意見・ご要望等があれば
右記までご連絡ください。

編集・発行: **Asian Disaster Reduction Center (アジア防災センター)**
〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通 1-5-2 ひと未来館 5F
E-mail: editor@adrc.or.jp TEL: 078(230)5540 FAX: 078(230)5546
誌代・送料: 無料 / 毎月2回発行(予定)